

門真市生涯学習複合施設建設基本計画

No.1

門真市生涯学習複合施設建設基本構想

■ 基本コンセプト

**地域とともにコミュニティを育む
文化・学習の交流拠点**

多様な文化・学習 活動の展開

- 多様でワクワクするような文化・学習活動が展開される、『自ら学び』『ともに学びあう』場
- 訪れやすく、広範な市民に身近な施設

地域コミュニティ の醸成

- 文化・学習活動を通じて、多様な目的を持った幅広い世代が交流、協働できる場
- 市民が積極的に関われるソフトプランニング

地域の 景観づくり

- 地域の景観づくりの先導、まちづくりの核
- 都市イメージを高める景観・デザイン
- 地域性を具現化したデザイン

■ 図書館部門整備方針

**幅広い世代の関心を取り込んだ
図書館資料が活用できるゆとりある滞在场**

- ゆとりある滞在型の施設
- 課題解決のための情報拠点
- 学習する権利の保障
- 幅広い資料・情報の充実

■ 文化会館部門整備方針

市民の自主的・創造的な活動を支援・発信・循環する場

- 市民相互の交流の創出と活性化
- 民間等の多様な主体との連携・協力
- 人づくり・文化・学習・情報の拠点
- 自主・創造的な活動の循環

■ 付帯部門整備方針

新たな出会いを生み出し、幅広い交流を育む、憩いの場

- 多世代交流を生み出す人づくり支援
- 子育て世代が利用しやすい施設
- 気軽に立ち寄れる憩いの施設

■ 配慮すべき事項

アクセス
動線

景観

防災

環境

その他

■ 諸条件の整理

■ 生涯学習複合施設建設予定地の敷地条件

敷地面積	約 3,000 m ²
用途地域	第2種住居地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
許容建築面積	約 1,800 m ²
許容床面積	約 6,000 m ²

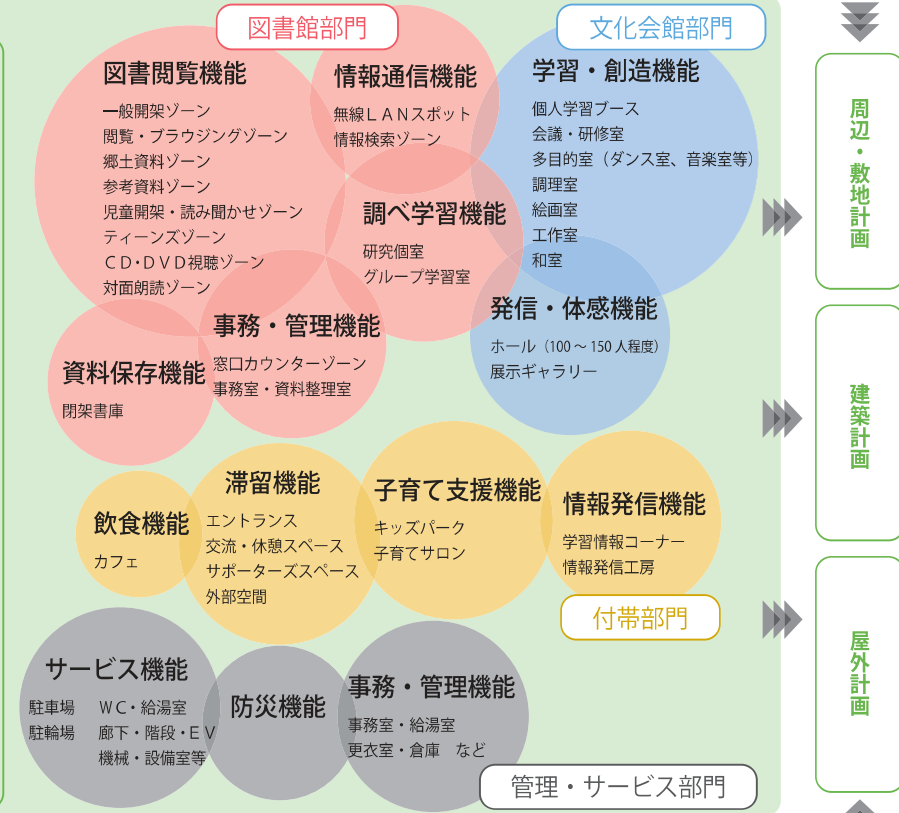
■ アンケート調査による機能の整理

- (1) 図書館のグループ利用の促進
- (2) 文化・学習活動に対する幅広いニーズへの対応
- (3) 若者が訪れたい環境の創出
- (4) 子育て世代の利用しやすさの向上
- (5) 訪れたい多世代交流の場の促進



■ 導入機能の設定

- 図書館閲覧機能**
 - ・利用形態（滞在時間など）に配慮した計画
 - ・ゆとり、明るさ、快適性、わかりやすさに配慮した計画
- 調べ学習機能**
 - ・図書・資料を活用した学習・研究の場
 - ・図書館閲覧機能、学習・創造機能との連携に配慮した機能の配置
- 情報通信機能**
 - ・情報化社会に対応した、より質の高い図書館サービスの提供（IT技術の導入など）
- 学習・創造機能**
 - ・自主的・創造的な文化・学習活動の場
 - ・将来的な活動の多様化に対応できるよう多目的な利用が可能な学習環境の充実
 - ・図書館部門との連携による生涯学習の拠点
- 発信・体感機能**
 - ・市民の様々な活動の成果を発信・体感する場
 - ・学習・創造機能と近接性（連携）を有した自主的・創造的な活動の循環の場
- 滞留機能・飲食機能**
 - ・気軽に立ち寄れる交流・憩いの場
 - ・市民活動との連携、協力による運営の検討
- 子育て支援機能**
 - ・子育て世代の利用促進（子どもが自由に遊びながら学ぶことができる環境づくりなど）
 - ・子どもを中心とした多世代交流の促進
- 情報発信機能**
 - ・多様な情報の発信・共有の支援



■ 施設整備において配慮すべき事項

アクセス・動線

- 安全・快適な歩行者・自転車・自動車動線の確保
- シビックゾーン等の連携・回遊性の向上への配慮

景観

- 駅前の空間と一体的なデザインによるシンボルゾーンの形成・ゲート性の確保
- 良好な地域景観の誘引

防災

- 地震・水害などの災害に強い建物構造
- 災害時のライフラインの維持

環境

- 駅前の空間と一体的な緑・うるおい・憩いの創出
- 環境配慮や低炭素社会に向けた先進的な施設として整備

その他

- ユニバーサルデザインの導入
- ライフサイクルコストの低減
- 地域経済の活性化
- 市民の積極的な運営参加

■ 整備計画モデル

□ 周辺・敷地計画

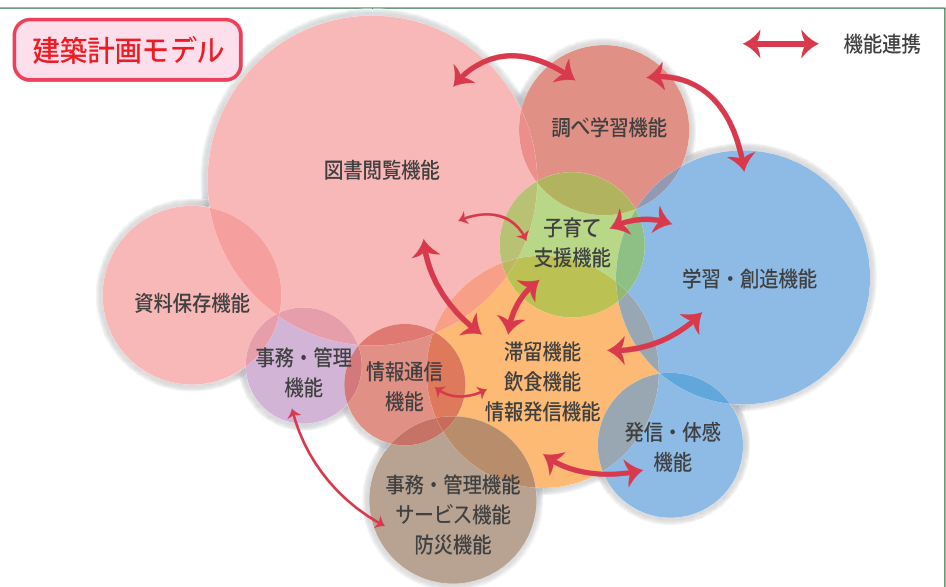
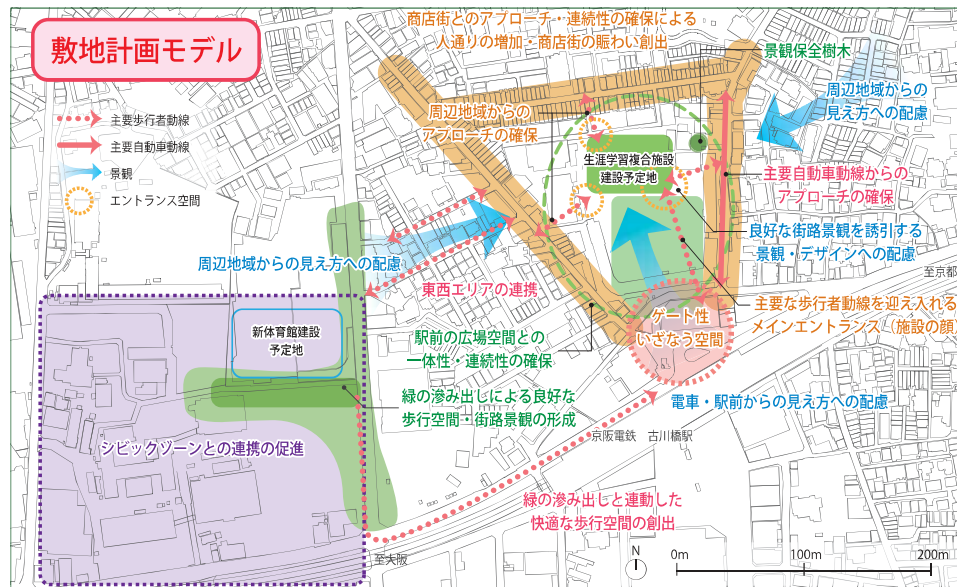
- ・駅前空間との一体性・連続性の確保によるシンボルゾーンの形成やゲート性の確保に配慮し、歴史・文化などの地域性を活かした計画とすること。
- ・駅前空間や電車、周辺地域からの見え方に配慮し、地域の良好な景観形成を先導するデザインとすること。
- ・周辺地域やシビックゾーンとの連携を視野に入れた計画とすること。
- ・施設は駅前空間との連続性・一体性を確保し、賑わいとうるおいのある顔づくりを行うこと。
- ・地域性や周辺環境との関係性に配慮した計画とすること。
- ・気軽に立ち寄りたくなる環境づくりを行うこと。

□ 建築計画

- ・都市の将来像を先導するような上質なデザインとすること。
- ・『門真市の顔』としてふさわしい建物デザインとすること。
- ・だれもがわかりやすく使いやすい機能構成・配置・動線計画とすること。
- ・静的な活動の空間と動的な活動の空間のゾーニングに留意すること。

□ 屋外計画

- ・歩車分離など、各種動線を適切に計画すること。
- ・外部空間については、駅前空間への賑わいのにじみ出しや落ち着いた雰囲気などの静的な休憩空間など、使い方に応じたゾーニングを行うこと。



■ 管理運営・施設整備に向けた検討

□ 管理運営体制

- 運営手法の動向**
市の直接実施や指定管理者制度の導入など。
- 民間資源の活用**
効果的・効率的な施設の管理運営のため、民間企業の資源（ノウハウなど）の活用を視野に入れた検討。

- 管理運営の基本的な考え方**
 - 図書館部門と文化会館部門を併設するメリットを最大限活用。
 - 他施設との連携による生涯学習環境の充実。
 - 地域の団体との連携によるサービスの向上・効率化、および民間資源を活用した地域に愛される施設。

□ 整備スケジュール

今後のまちづくり事業などの動向を見据えながら早期開設を目指す。

□ 概算事業費・管理運営費

- 概算事業費：今後の財政状況などを踏まえ基本設計・実施設計の中で具体的に検討。
- 管理運営費：管理運営費の縮減に寄与する建設工事・施設整備・管理運営手法の検討。

門真市立文化会館利用状況

部屋名	区分	平日		土日祝		全体	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
ホール	午前	90	47.4%	94	81.7%	184	60.3%
	午後	164	86.3%	70	60.9%	234	76.7%
	夜間	92	48.4%	54	47.0%	146	47.9%
	合計	346	60.7%	218	63.2%	564	61.6%
第1会議室	午前	118	62.1%	33	28.7%	151	49.5%
	午後	121	63.7%	66	57.4%	187	61.3%
	夜間	85	44.7%	50	43.5%	135	44.3%
	合計	324	56.8%	149	43.2%	473	51.7%
料理講習室	午前	18	9.5%	15	13.0%	33	10.8%
	午後	18	9.5%	10	8.7%	28	9.2%
	夜間	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
	合計	37	6.5%	25	7.2%	62	6.8%
第2会議室	午前	127	66.8%	72	62.6%	199	65.2%
	午後	169	88.9%	72	62.6%	241	79.0%
	夜間	62	32.6%	15	13.0%	77	25.2%
	合計	358	62.8%	159	46.1%	517	56.5%
和室	午前	90	47.4%	30	26.1%	120	39.3%
	午後	107	56.3%	47	40.9%	154	50.5%
	夜間	12	6.3%	0	0.0%	12	3.9%
	合計	209	36.7%	77	22.3%	286	31.3%
音楽室	午前	58	30.5%	57	49.6%	115	37.7%
	午後	81	42.6%	59	51.3%	140	45.9%
	夜間	31	16.3%	28	24.3%	59	19.3%
	合計	170	29.8%	144	41.7%	314	34.3%
絵画室	午前	62	32.6%	52	45.2%	114	37.4%
	午後	104	54.7%	53	46.1%	157	51.5%
	夜間	19	10.0%	6	5.2%	25	8.2%
	合計	185	32.5%	111	32.2%	296	32.3%
第3会議室	午前	70	36.8%	49	42.6%	119	39.0%
	午後	78	41.1%	33	28.7%	111	36.4%
	夜間	21	11.1%	11	9.6%	32	10.5%
	合計	169	29.6%	93	27.0%	262	28.6%
合計	午前	633	25.9%	402	16.5%	1035	42.4%
	午後	842	34.5%	410	16.8%	1252	51.3%
	夜間	323	13.2%	164	6.7%	487	20.0%
	合計	1798	24.6%	976	13.3%	2774	37.9%

門真市立公民館利用状況

部屋名	区分	平日		土日祝		全体	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
集会室	午前	73	37.4%	83	75.5%	156	51.1%
	午後	141	72.3%	69	62.7%	210	68.9%
	夜間	172	88.2%	96	87.3%	268	87.9%
	合計	386	66.0%	248	75.2%	634	69.3%
児童室	午前	178	91.3%	71	64.5%	249	81.6%
	午後	166	85.1%	97	88.2%	263	86.2%
	夜間	152	77.9%	62	56.4%	214	70.2%
	合計	496	84.8%	230	69.7%	726	79.3%
料理教室	午前	9	4.6%	40	36.4%	49	16.1%
	午後	5	2.6%	26	23.6%	31	10.2%
	夜間	3	1.5%	5	4.5%	8	2.6%
	合計	17	2.9%	71	21.5%	88	9.6%
第1会議室	午前	110	56.4%	91	82.7%	201	65.9%
	午後	140	71.8%	40	36.4%	180	59.0%
	夜間	119	61.0%	13	11.8%	132	43.3%
	合計	369	63.1%	144	43.6%	513	56.1%
第2会議室	午前	128	65.6%	68	61.8%	196	64.3%
	午後	127	65.1%	83	75.5%	210	68.9%
	夜間	140	71.8%	54	49.1%	194	63.6%
	合計	395	67.5%	205	62.1%	600	65.6%
講義室	午前	113	57.9%	48	43.6%	161	52.8%
	午後	94	48.2%	52	47.3%	146	47.9%
	夜間	133	68.2%	25	22.7%	158	51.8%
	合計	340	58.1%	125	37.9%	465	50.8%
合計	午前	611	52.2%	401	60.8%	1012	55.3%
	午後	673	57.5%	367	55.6%	1040	56.8%
	夜間	719	61.5%	255	38.6%	974	53.2%
	合計	2003	57.1%	1023	51.7%	3026	55.1%

門真市民文化会館ルミエールホール利用状況

(1/2)

部屋名	区分	平日		土日祝		全体	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
大ホール	午前	46	23.8%	97	84.3%	143	46.4%
	午後	55	28.5%	105	91.3%	160	51.9%
	夜間	49	25.4%	93	80.9%	142	46.1%
	合計	150	25.9%	295	85.5%	445	48.2%
ホワイエ	午前	37	19.2%	86	74.8%	123	39.9%
	午後	49	25.4%	94	81.7%	143	46.4%
	夜間	41	21.2%	82	71.3%	123	39.9%
	合計	127	21.9%	262	75.9%	389	42.1%
小ホール	午前	30	15.5%	99	86.1%	129	41.9%
	午後	47	24.4%	113	98.3%	160	51.9%
	夜間	58	30.1%	81	70.4%	139	45.1%
	合計	135	23.3%	293	84.9%	428	46.3%
レセプションホール	午前	72	37.3%	83	72.2%	155	50.3%
	午後	66	34.2%	91	79.1%	157	51.0%
	夜間	60	31.1%	51	44.3%	111	36.0%
	合計	198	34.2%	225	65.2%	423	45.8%
パントリー	午前	5	2.6%	40	34.8%	45	14.6%
	午後	14	7.3%	42	36.5%	56	18.2%
	夜間	14	7.3%	21	18.3%	35	11.4%
	合計	33	5.7%	103	29.9%	136	14.7%
展示ホール	午前	28	14.5%	50	43.5%	78	25.3%
	午後	55	28.5%	73	63.5%	128	41.6%
	夜間	133	68.9%	85	73.9%	218	70.8%
	合計	216	37.3%	208	60.3%	424	45.9%
研修室	午前	33	17.1%	45	39.1%	78	25.3%
	午後	41	21.2%	64	55.7%	105	34.1%
	夜間	61	31.6%	25	21.7%	86	27.9%
	合計	135	23.3%	134	38.8%	269	29.1%
会議室1	午前	84	43.5%	55	47.8%	139	45.1%
	午後	108	56.0%	52	45.2%	160	51.9%
	夜間	95	49.2%	42	36.5%	137	44.5%
	合計	287	49.6%	149	43.2%	436	47.2%

門真市民文化会館ルミエールホール利用状況

(2/2)

部屋名	区分	平日		土日祝		全体	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
会議室2	午前	26	13.5%	34	29.6%	60	19.5%
	午後	71	36.8%	41	35.7%	112	36.4%
	夜間	32	16.6%	23	20.0%	55	17.9%
	合計	129	22.3%	98	28.4%	227	24.6%
和室1	午前	58	30.1%	42	36.5%	100	32.5%
	午後	38	19.7%	60	52.2%	98	31.8%
	夜間	93	48.2%	28	24.3%	121	39.3%
	合計	189	32.6%	130	37.7%	319	34.5%
和室2	午前	13	6.7%	41	35.7%	54	17.5%
	午後	29	15.0%	58	50.4%	87	28.2%
	夜間	27	14.0%	27	23.5%	54	17.5%
	合計	69	11.9%	126	36.5%	195	21.1%
茶室	午前	0	0.0%	9	7.8%	9	2.9%
	午後	0	0.0%	11	9.6%	11	3.6%
	夜間	0	0.0%	5	4.3%	5	1.6%
	合計	0	0.0%	25	7.2%	25	2.7%
リハーサル室	午前	97	50.3%	89	77.4%	186	60.4%
	午後	59	30.6%	92	80.0%	151	49.0%
	夜間	188	97.4%	106	92.2%	294	95.5%
	合計	344	59.4%	287	83.2%	631	68.3%
練習室1	午前	46	23.8%	47	40.9%	93	30.2%
	午後	64	33.2%	77	67.0%	141	45.8%
	夜間	66	34.2%	43	37.4%	109	35.4%
	合計	176	30.4%	167	48.4%	343	37.1%
練習室2	午前	98	50.8%	57	49.6%	155	50.3%
	午後	85	44.0%	86	74.8%	171	55.5%
	夜間	109	56.5%	41	35.7%	150	48.7%
	合計	292	50.4%	184	53.3%	476	51.5%
多目的室	午前	96	49.7%	80	69.6%	176	57.1%
	午後	89	46.1%	93	80.9%	182	59.1%
	夜間	128	66.3%	39	33.9%	167	54.2%
	合計	313	54.1%	212	61.4%	525	56.8%
合計	午前	769	24.9%	954	51.8%	1723	35.0%
	午後	870	28.2%	1152	62.6%	2022	41.0%
	夜間	1154	37.4%	792	43.0%	1946	39.5%
	合計	2793	30.1%	2898	52.5%	5691	38.5%

門真市立市民交流会館 中塚荘 利用状況

部屋名	区分	平日		土日祝		全体	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
交流サロン	午前	19	9.8%	39	33.9%	58	18.8%
	午後	23	11.9%	43	37.4%	66	21.4%
	夜間	22	11.4%	22	19.1%	44	14.3%
	合計	64	11.1%	104	30.1%	168	18.2%
和室1	午前	146	75.6%	65	56.5%	211	68.5%
	午後	107	55.4%	104	90.4%	211	68.5%
	夜間	11	5.7%	75	65.2%	86	27.9%
	合計	264	45.6%	244	70.7%	508	55.0%
和室2	午前	134	69.4%	60	52.2%	194	63.0%
	午後	88	45.6%	69	60.0%	157	51.0%
	夜間	15	7.8%	42	36.5%	57	18.5%
	合計	237	40.9%	171	49.6%	408	44.2%
展示室	午前	101	52.3%	12	10.4%	113	36.7%
	午後	28	14.5%	49	42.6%	77	25.0%
	夜間	8	4.1%	23	20.0%	31	10.1%
	合計	137	23.7%	84	24.3%	221	23.9%
研修室1	午前	110	57.0%	42	36.5%	152	49.4%
	午後	93	48.2%	47	40.9%	140	45.5%
	夜間	60	31.1%	38	33.0%	98	31.8%
	合計	263	45.4%	127	36.8%	390	42.2%
研修室2	午前	123	63.7%	68	59.1%	191	62.0%
	午後	106	54.9%	68	59.1%	174	56.5%
	夜間	91	47.2%	34	29.6%	125	40.6%
	合計	320	55.3%	170	49.3%	490	53.0%
合計	午前	633	54.7%	286	41.4%	919	49.7%
	午後	445	38.4%	380	55.1%	825	44.6%
	夜間	207	17.9%	234	33.9%	441	23.9%
	合計	1285	37.0%	900	43.5%	2185	39.4%

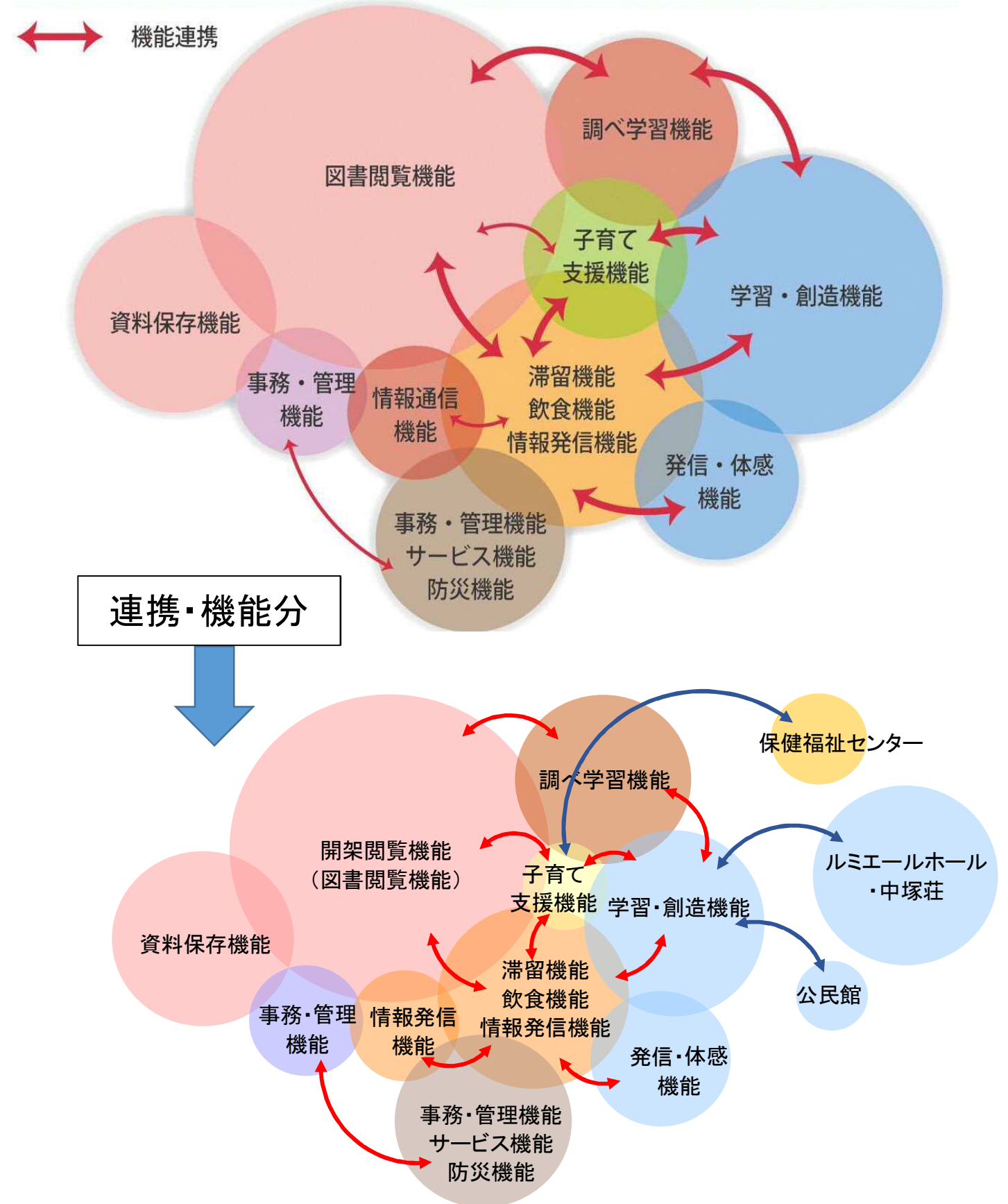
生涯学習複合施設の機能に関する市有施設との連携・機能分散について

平成30年5月25日 社会教育課

門真市生涯学習複合施設建設基本計画
P29 (5) 施設構成モデル

部門	機能	区分 諸室	部門合計 (m)
図書館	開架閲覧機能	一般開架ゾーン 閲覧・ブラウジングゾーン 郷土資料ゾーン 参考資料ゾーン 児童開架・読み聞かせゾーン ティーンズゾーン CD・DVD視聴ゾーン 対面朗読ゾーン	3,500
	調べ学習機能	研究個室 グループ学習室(複数)	
	情報通信機能	無線LANスポット 情報検索ゾーン	
	資料保存機能	閉架書庫	
	事務・管理機能	窓口カウンターゾーン 資料整理室 事務室(事務的会議室を含む)	
文化会館	学習・創造機能	個人学習室 会議・研修室(複数) 多目的室(ダンス室、音楽室他) 調理室 絵画室 工作室 和室	1,100
	発信・体感機能	ホール(100人から150人程度、2室) 展示ギャラリー	
	滞留機能	エントランス 交流・休憩スペース サポーターズスペース	
付帯	飲食機能	カフェ	580
	子育て支援機能	キッズパーク 子育てサロン 授乳室	
	情報発信機能	学習情報コーナー 情報発信工房	
	事務・管理機能	事務室 給湯室 更衣室 倉庫	
管理・サービス	サービス機能	トイレ 給湯室 廊下・階段室・エレベーター 機械・設備室 その他	820
	防災機能	諸室・設備	
	延床面積		

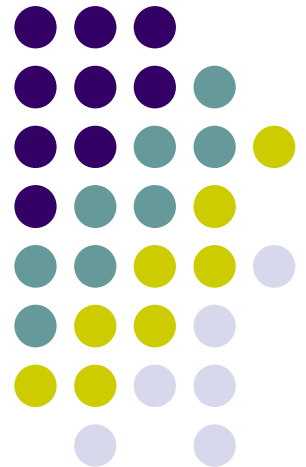
門真市生涯学習複合施設建設基本計画
P34 (3) 建築計画モデル



本市の財政状況(平成28年度決算状況等)及び 財政健全化計画・中期財政見通しの 進捗状況について

平成29年8月

企画財政部財政課





1. 平成28年度決算状況等について



(1) 平成28年度 歳入歳出決算総括表

単位:千円

会 計 名		歳入	歳出	差引額	翌年度 繰越財源	実質収支	単年度 収 支
普通会計	一 般 会 計	55,012,872	54,916,459	96,413	88,484	7,929	△46,701
	都 市 開 発 資 金	0	0	0	0	0	0
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	305,092	305,092	0	0	0	0
特別会計	国民健康保険事業	19,372,785	20,607,126	△1,234,341	0	△1,234,341	512,282
	公 共 下 水 道 事 業	6,688,347	6,072,413	615,934	224	615,710	436,418
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1,468,148	1,392,210	75,938	0	75,938	△1,589
合 計		82,847,244	83,293,300	△446,056	88,708	△534,764	900,410

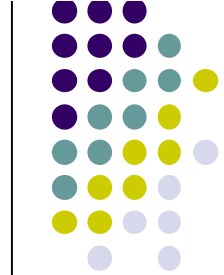
※ 公共下水道事業特別会計は、平成28年度末日をもって打ち切り決算となっています。



(参考) 平成27年度 歳入歳出決算総括表

単位:千円

会 計 名		歳入	歳出	差引額	翌年度 繰越財源	実質収支	単年度 収 支
普通会計	一 般 会 計	54,194,602	54,064,066	130,536	75,906	54,630	△362,608
	都 市 開 発 資 金	0	0	0	0	0	0
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	497,022	497,022	0	0	0	0
特別会計	国民健康保険事業	20,146,951	21,893,574	△1,746,623	0	△1,746,623	440,576
	公共下水道事業	7,267,423	7,087,906	179,517	225	179,292	26,713
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1,385,452	1,307,925	77,527	0	77,527	3,589
合 計		83,491,450	84,850,493	△1,359,043	76,131	△1,435,174	108,270



(2) 主な財政指標等の推移について

単位：千円

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
単年度収支	144,244	11,373	151,337	▲362,608	▲46,701
実質収支	254,528	265,901	417,238	54,630	7,929
実質単年度収支	▲46,344	▲8,812	289,406	▲151,254	▲187,908
経常収支比率	99.7%	97.6%	98.9%	98.6%	103.1%
財政調整基金取崩額	250,000	150,000	—	—	170,000



(3-1) 普通会計の特徴について (主な歳入)

単位:千円

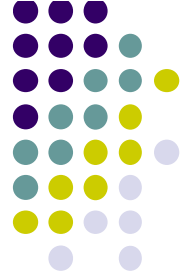
	平成28年度	平成27年度	差引	主な増減項目 (増減額)	
市 税	17,713,561	17,815,989	▲102,428	増加	個人市民税 49,176 固定資産税 36,299 軽自動車税 30,983
				減少	法人市民税 ▲240,580
地方交付税	6,571,526	6,839,512	▲267,986	増加	特別交付税 114
				減少	普通交付税 ▲268,099
地方消費税 交 付 金	2,457,029	2,792,550	▲335,521	減少	地方消費税交付金 ▲200,487 社会保障財源交付金 ▲135,034
国庫支出金	15,254,831	14,292,207	962,624	増加	子どものための教育・保育給付費負担金 732,130 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金 473,790 住宅市街地総合整備事業費補助金 472,645
				減少	保育所委託負担金 ▲453,231 施設型給付負担金 ▲172,924 地域住民生活等緊急支援のための交付金 ▲146,510
府 支 出 金	3,357,661	3,538,697	▲181,036	増加	子どものための教育・保育給付費負担金 392,221 子ども・子育て支援交付金 84,520 障がい者自立支援給付費等負担金 54,446
				減少	保育所委託負担金 ▲226,517 中学校給食導入促進事業費補助金 ▲210,000 施設型給付負担金 ▲85,577
繰 入 金	1,049,277	369,300	679,977	増加	まちづくり整備基金繰入金 357,181 財政調整基金繰入金 170,000 都市整備基金繰入金 123,918
				減少	市営住宅建設基金繰入金 ▲110,577
市 債	6,024,709	4,834,417	1,190,292	増加	住宅市街地総合整備事業債 2,082,800
				減少	第五中学校校舎等大規模改造事業債 ▲537,000 臨時財政対策債 ▲461,808



単位:千円

(3-2) 普通会計の特徴について (主な歳出)

	平成28年度	平成27年度	差引	主な増減項目 (増減額)	
人件費	6,625,807	6,905,810	▲280,003	減少	職員給 ▲43,407 共済費負担金 ▲30,381 退職手当 ▲151,600
扶助費	20,612,692	19,776,619	836,073	増加	施設型給付費 571,245 年金生活者等支援臨時福祉給付金 472,170 障がい者等支援給付費(介護給付・訓練等給付) 210,918
				減少	保育所入所委託料 ▲202,597 臨時福祉給付金 ▲86,553
公債費	4,367,524	4,660,419	▲292,895	減少	一般廃棄物処理施設整備事業債及び公共用地先行取得事業債の償還終了
物件費	5,768,031	5,592,403	175,628	増加	旧さつき園・くすのき園管理事業 91,129 小学校施設整備事業 56,560 幼稚園施設整備事業 52,093
				減少	住民情報システム等運用事業 ▲92,666 クリーンセンター施設棟運転維持管理事業 ▲73,094
補助費等	3,022,248	3,435,789	▲413,541	増加	消防活動事業 54,815 民間保育所等運営補助事業 52,265
				減少	生活保護給付事業(過年度国府返還金) ▲180,276 プレミアム付商品券発行事業 ▲124,339
普通建設事業費	6,824,913	4,921,529	1,903,384	増加	住宅市街地総合整備事業 127,541 (仮称)市立総合体育館建設事業 2,506,242 保育定員拡充事業 346,243 北島地区土地区画整理事業 330,608
				減少	給食運営事業 ▲603,603 中学校施設整備事業 ▲690,761 小学校施設整備事業 ▲83,979



(4) 国民健康保険事業特別会計の特徴について

1. 財政指標

- 平成28年度の単年度収支は、保険給付費が減少したことや一般会計から特別対策分としての繰出を実施したことにより、5億1,228万2千円の黒字となりました。
その結果、実質収支は、平成27年度17億4,662万3千円の赤字から12億3,434万1千円の赤字となりました。

2. 歳入

- 保険料については、高齢化に伴い後期高齢者医療保険への移行者が増加したことや短時間労働者への健康保険の適用が拡大されたこと等による被保険者数の減少等により、前年度と比較して1億6,724万円減少しているものの、現年度分収納率が平成27年度の91.56%から92.18%となり0.62ポイント上昇しました。
- 国の特別調整交付金（その他特別な事情）の経営努力分については、保険料収納率の向上対策やジェネリック医薬品利用促進事業等に積極的に取り組んだ結果、府からの推薦を受け、8,600万円を獲得できました。

3. 歳出

- 保険給付費が5億9,371万3千円、後期高齢者支援金等が1億4,876万1千円、前年度補助金の精算等による諸支出金が5,853万3千円、繰上充用金が4億4,057万6千円の減少となりました。

(5-1) 財政健全化4指標の状況について (実質赤字比率・連結実質赤字比率)



実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

単位：%

平成28年度	平成27年度
—	—
早期健全化基準	11.96
財政再生基準	20.00

連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額等の標準財政規模に対する比率

単位：%

平成28年度	平成27年度
—	—
早期健全化基準	16.96
財政再生基準	30.00

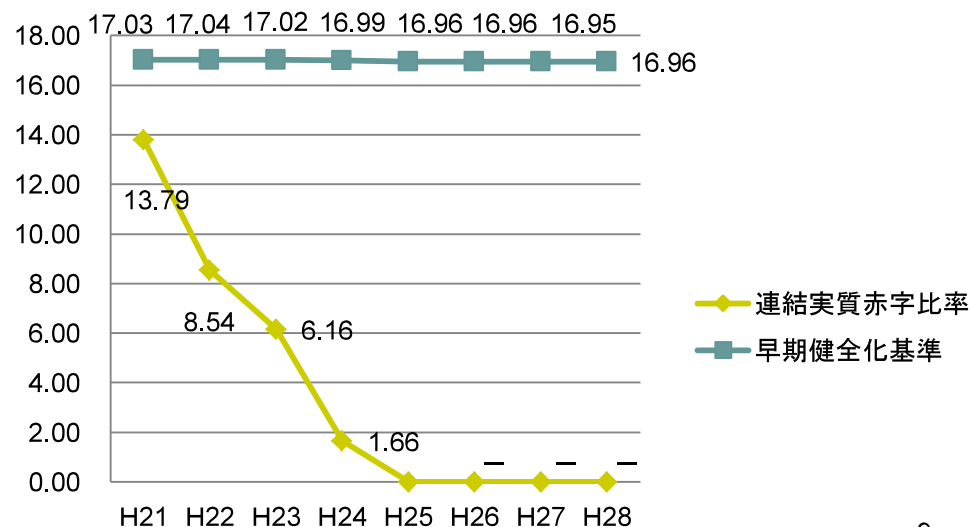
財政健全化4指標 (健全化判断比率)

地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにし、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための4つの財政指標をいう。

門真市の標準財政規模 269億6,780万5千円

市の標準的な状態で、通常収入される経常一般財源（市税・普通交付税・交付金・地方譲与税等）の規模をいうもので、普通交付税の算定の仕組みを通じて表されるもの。

連結実質赤字比率の推移(単位:%)



(5-2) 財政健全化4指標の状況について (実質公債費比率・将来負担比率)



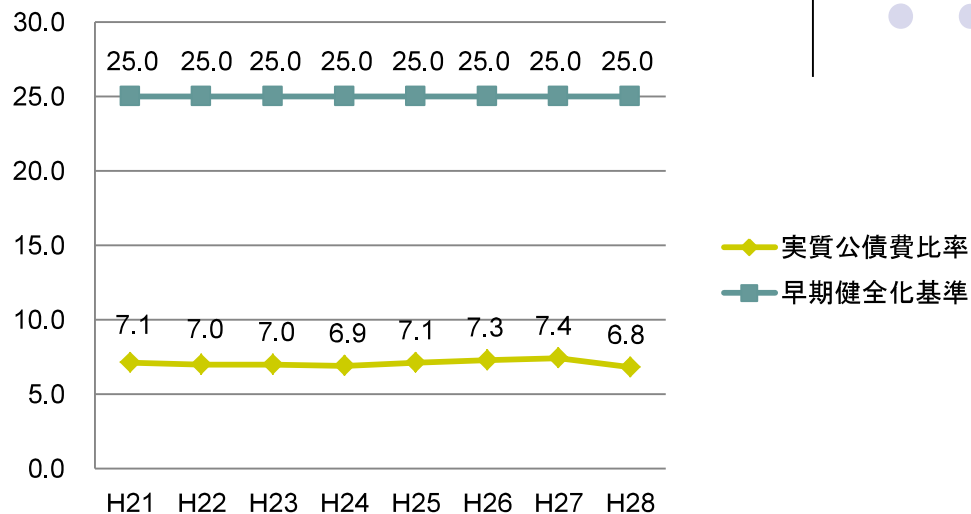
実質公債費比率

一般会計等が負担する市債の返済等の標準財政規模に対する比率

単位：%

平成28年度	平成27年度
6.8	7.4
早期健全化基準	25.00
財政再生基準	35.00

実質公債費比率の推移 (単位: %)



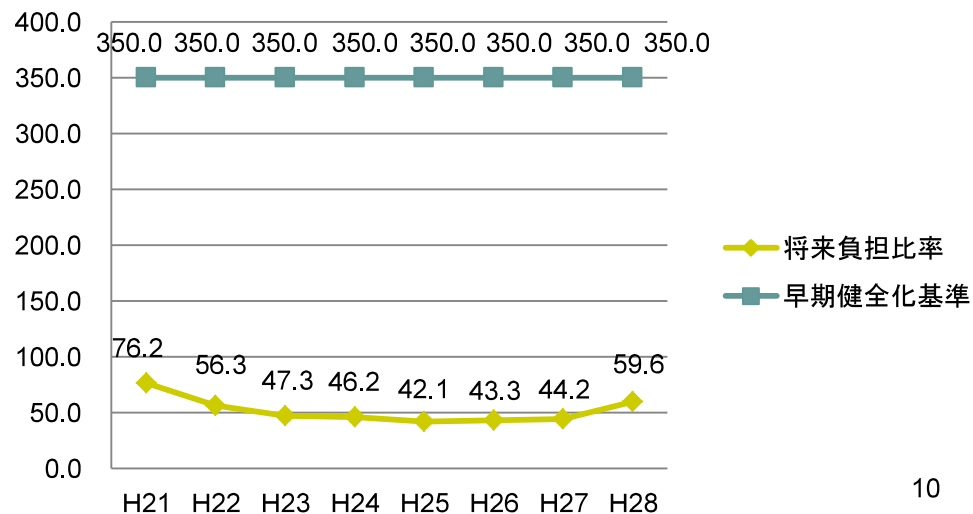
将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき負債の標準財政規模に対する比率

単位：%

平成28年度	平成27年度
59.6	44.2
早期健全化基準	350.0
財政再生基準	基準なし

将来負担比率の推移 (単位: %)





(参考)

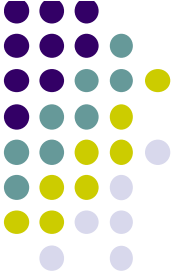
北河内各市の決算状況における財政健全化4指標の状況

単位：%

	市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成28年度	門真市	— (11.96)	— (16.96)	6.8 (25.0)	59.6 (350.0)
平成27年度	門真市	— (11.96)	— (16.96)	7.4 (25.0)	44.2 (350.0)
	守口市	— (11.76)	— (16.76)	7.1 (25.0)	72.6 (350.0)
	枚方市	— (11.25)	— (16.25)	0.4 (25.0)	- (350.0)
	寝屋川市	— (11.34)	— (16.34)	1.9 (25.0)	- (350.0)
	大東市	— (12.16)	— (17.16)	3.6 (25.0)	- (350.0)
	四條畷市	— (13.12)	— (18.12)	7.9 (25.0)	- (350.0)
	交野市	— (12.84)	— (17.84)	13.0 (25.0)	169.9 (350.0)

() は早期健全化基準

※北河内各市は平成27年度決算状況における指標



2. 財政健全化計画・中期財政見通しの進捗状況について



(1) 新たな施策等の実施と進捗について

①退職手当債の発行について

単位：百万円

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
計画額	925	805	560	487	0	0	0	0
発行額	925	805	706	587	286	0	0	0

②未利用地等の計画的な売却及び活用

単位：百万円

対象土地	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
公園緑地管理事務所跡土地	53	—	—	—	—	—	—
養護老人ホーム跡地	357	—	—	—	—	—	—
(旧) 青少年活動センター	—	296	—	—	—	—	—
(旧) さつき園・くすのき園	—	—	—	214	—	—	—
対象土地	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	決算	決算	決算	決算見込	予測	予測	予測
公園緑地管理事務所跡土地	—	37	—	—	—	—	—
養護老人ホーム跡地	—	—	—	—	—	—	—
(旧) 青少年活動センター	—	—	—	—	209	—	—
(旧) さつき園・くすのき園	—	—	—	—	—	—	233



③第三セクター等改革推進債の活用による土地開発公社の解散と今後の償還金について

- 平成25年1月25日大阪府知事の認可により解散
- 平成25年3月29日清算終了
- 第三セクター等改革推進債発行 約37億円 (元利償還金：約2億2,200万円/年)

④更なる国民健康保険事業特別会計の健全化への対応

単位：百万円

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
国保単年度収支	320	320	320	320	363	405	448	491	533
国保実質収支	▲3,200	▲2,880	▲2,560	▲2,240	▲1,877	▲1,472	▲1,024	▲533	0
一般会計繰出金	566 (257)	536 (233)	510 (212)	487 (195)	482 (195)	476 (195)	471 (195)	465 (195)	460 (195)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	決算	決算	決算	決算見込	予測	予測	予測	予測	予測
国保単年度収支	606	412	440	512	363	405	448	18	0
国保実質収支	▲2,599	▲2,187	▲1,747	▲1,234	▲871	▲466	▲18	0	0
一般会計繰出金	700 (449)	450 (246)	407 (250)	335 (197)	345 (195)	345 (195)	345 (195)	268 (18)	150 (0)

※ () は累積赤字補填分



(2) 公共施設等の大規模修繕等に要する経費

人口減少が予測されるなかにおいて、歳入の大きな伸びを期待することが困難な状況であり、また、社会保障関係経費の増大が見込まれるなかにおいて、公共施設等の整備・維持・管理・更新に支出できる一般財源には限界があるため、経費の平準化を図る必要がある。

(単位：百万円)

〈投資的経費の所要見込額【一般財源ベース】の推移〉

30年間の一般財源所要見込額
約174億円



○今後30年間の公共施設等に係る大規模修繕等経費の平均値を基準に下回れば積み立て、上回れば処分する等といった一定のルールを検討し、財政負担を平準化する必要がある。

○将来的な庁舎の建設を見込む場合、大規模修繕分とは別のルールで基金の積み立てが必要ではないか。



(3) 建設事業費の見通し

<今後の主な建設事業の見込み（計画・進捗）>

単位：百万円

施設名		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
市立総合体育館	計画		建設工事 2,815	<開設>						
	進捗	基本設計 40	実施設計 40	変更設計 4 建設工事 440	建設工事 2,950	<開設>				
(仮称)市立生涯 学習複合施設	計画			建設工事 3,500	<開設>					
	進捗						基本設計 24	基本・実施 設計 115	実施設計 136	建設工事 1,747

- ※ 施設名は整備後の施設名と異なります。また、表中の金額は、概算事業費をあらわしています。
- ※ 建設工事等の実施年度、事業費及び開設年度は、現在の見込みであり、今後、事業の進捗状況等により、変更が生じる場合があります。
- ※ 建設工事及び改修工事には、工事監理業務委託に係る費用を含んだ見込みとなっています。
- ※ 表中建設事業のほか、中部まちづくり整備ゾーンでの「防災公園・多目的グランド」の建設については、事業手法を含めて検討段階であるため、事業着手時期、事業費等は現在のところ未定です。

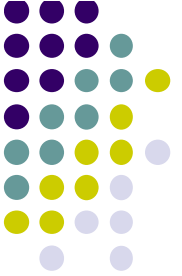


単位：百万円

<今後の主な建設事業の見込み（計画・進捗）>

施設名		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
（仮称）市立南認定こども園 【南幼稚園・南保育園】	計画				建設工事 600	<開設>				
	進捗			基本設計 5 用地購入 279	実施設計 12	建設工事 937	<開設>			
門真市民文化会館 ルミエールホール	計画						改修工事 1,015	改修工事 1,989	<開設>	
	進捗					基本・実施 設計 171	改修工事 855	改修工事 1,673	<開設>	

- ※ 施設名は整備後の施設名と異なります。また、表中の金額は、概算事業費をあらわしています。
- ※ 建設工事等の実施年度、事業費及び開設年度は、現在の見込みであり、今後、事業の進捗状況等により、変更が生じる場合があります。
- ※ 建設工事及び改修工事には、工事監理業務委託に係る費用を含んだ見込みとなっています。
- ※ 表中建設事業のほか、中部まちづくり整備ゾーンでの「防災公園・多目的グランド」の建設については、事業手法を含めて検討段階であるため、事業着手時期、事業費等は現在のところ未定です。



3. 本市の財政状況について **(財政状況に関する中期的な収支計画)**

(1) 財政収支の見通し【平成29年8月版】



「財政状況に関する中期的な収支計画(平成29年8月版)」では、急激な人口減少等の影響により、毎年度多額の収支不足が生じるものと予測している。

当面の間の収支不足については、基金や未利用地の売却等、臨時的な収入で対応できると見込んでいるものの、その対応には一定の限界があるため、極めて厳しい財政状況に直面している。

このため、地方税財政制度の動向に注視しつつ、常にトレンドを掴みながら、国費、府費等を積極的に活用し、改めて収支均衡型の予算編成に取り組むとともに、持続可能な行財政運営にデザインし直さなければならない。

単位: 百万円

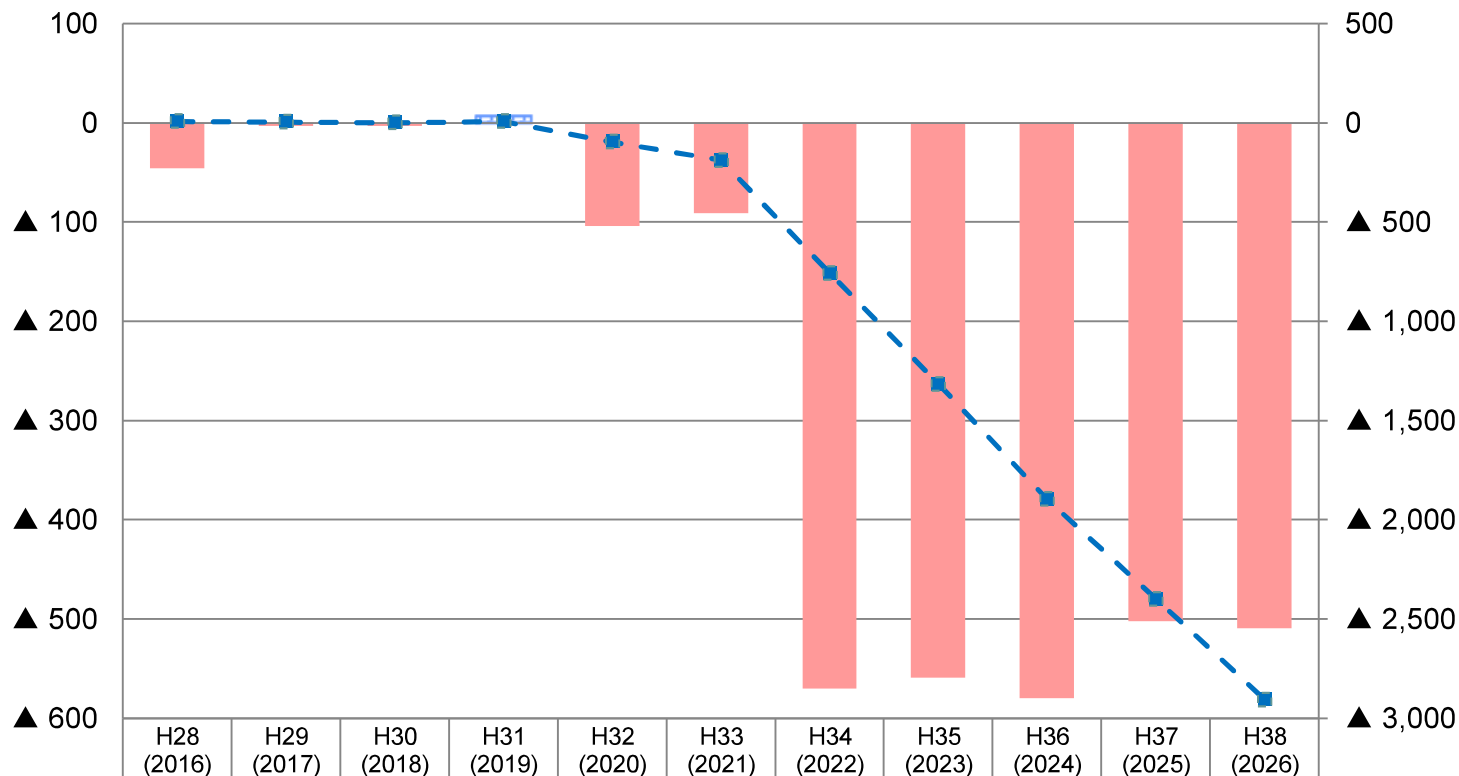
単位: 百万円

収支プラス

収支マイナス

単年度収支(棒グラフ)

実質収支(折線グラフ)



▲ 100											
▲ 200											
▲ 300											
▲ 400											
▲ 500											
▲ 600											

(2) 今後の基金残高推移の見通し (年度末現在高) 【平成29年8月版】

[基金状況]

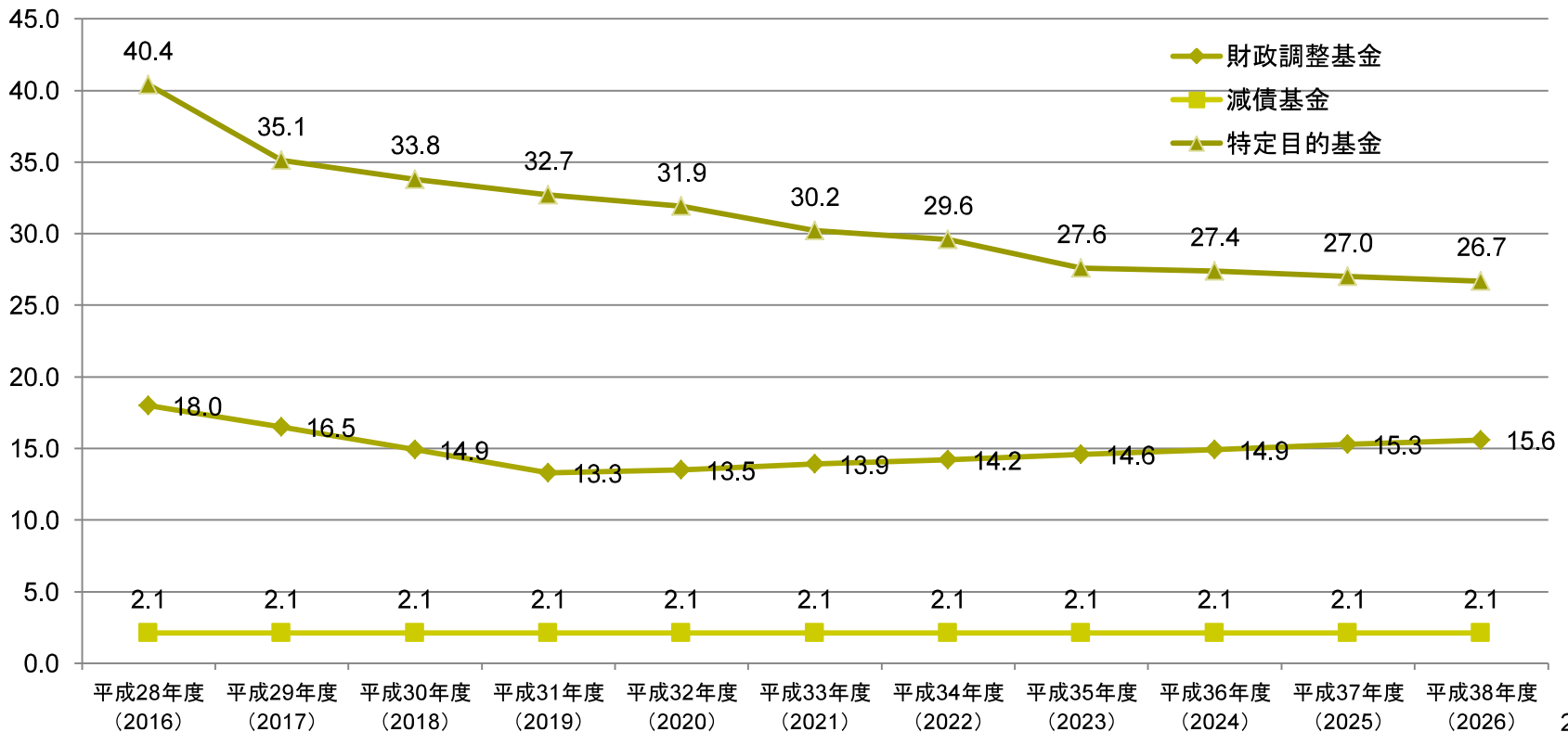
○平成30年度以降、多額の財源不足が予測されることから、財政調整基金をはじめとする全基金を取り崩すことにより残高が減少する見込み。(グラフ参照)



○平成30年度以降の予算編成においては基金に依存しない収支均衡型の予算編成を目指すものの、一定額を取り崩しは回避することが困難な状況に直面している。

○平成30年度以降の予算編成では、基金以外での財源対策を行えるよう、地方税財政制度の動向に注視しつつ、これまで以上に積極的に国費・府費等の特定財源の確保や未利用地の売却等の歳入確保策を実施しなければならない。

単位: 億円



(3) 普通会計見通し



単位：百万円

＜普通会計歳入歳出等＞		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
歳入	市税	17,714	17,763	17,707	17,801	17,439	17,132	17,152	17,174	16,875	16,893	16,908
	地方交付税	6,572	6,756	7,333	7,351	9,373	10,029	10,248	10,468	10,885	11,114	11,358
	国・府支出金	18,612	19,038	17,964	19,513	18,554	20,410	19,524	19,148	18,252	18,787	18,798
	市債	6,025	4,589	3,920	5,389	1,603	3,000	2,184	1,647	901	1,000	860
	その他	5,795	5,329	4,621	5,072	5,199	5,085	4,771	4,958	4,728	4,728	4,739
	うち繰入金（財調）	170	195	195	195	18	0	0	0	0	0	0
	うち繰入金（減債）	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち繰入金（特目）	779	603	237	200	96	164	82	232	39	39	50
合 計	54,718	53,475	51,545	55,126	52,168	55,656	53,879	53,395	51,641	52,522	52,663	
歳出	人件費	6,626	6,970	7,217	7,056	7,222	7,319	7,153	7,373	7,290	7,202	7,174
	扶助費	20,613	20,830	20,456	20,585	21,147	21,152	21,385	21,697	22,132	22,541	22,928
	公債費	4,368	4,259	4,189	4,242	4,280	4,381	4,652	4,468	4,372	4,536	4,562
	物件費	5,768	5,633	5,543	5,672	5,643	5,633	5,633	5,642	5,643	5,633	5,633
	補助費等	3,022	4,702	4,530	4,770	4,456	4,427	4,551	4,526	4,463	4,569	4,495
	繰出金	7,135	5,244	5,427	5,605	5,606	5,768	5,768	5,952	6,140	6,333	6,741
	普通建設事業費	6,825	5,244	3,660	6,769	3,498	6,650	4,706	3,906	1,824	1,830	1,469
	その他	265	588	521	419	412	513	788	1,147	1,673	2,276	2,568
合 計	54,622	53,470	51,543	55,118	52,264	55,843	54,636	54,711	53,537	54,920	55,570	
翌年度に繰り越すべき財源	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実 質 収 支	8	5	2	8	▲ 96	▲ 187	▲ 757	▲ 1,316	▲ 1,896	▲ 2,398	▲ 2,907	
単年度収支	▲ 46	▲ 3	▲ 3	6	▲ 104	▲ 91	▲ 570	▲ 559	▲ 580	▲ 502	▲ 509	



(4) 結果のポイント

[平成28年度決算見込みからの変動]

○平成29年度から平成38年度までの予測と平成28年度決算見込みを比較すると、平成31年度については、横ばい。
平成32年度以降は各年度おおむね1億円～6億円の収支不足となる見込み。

項目		主 要 因
歳入	市 税 収 入	人口減少（高齢化に伴う生産年齢人口の減少）による影響などにより減少
	交 付 税 等	基準財政需要額の伸びにより増加
	特 定 財 源	市有財産の売却により財産収入が増加 特定目的基金の活用により繰入金が増加 建設事業費の減などにより国・府支出金及び市債が減少
歳出	人 件 費	平成30年度以降地域手当の見直し及び退職者数の変動により増加
	社 会 保 障 費 関 係 経 費	子ども・子育て支援関係経費及び高齢化の進展に伴う介護・高齢者関係経費の自然増などにより増加
	公 債 費	過去に発行した市債の償還終了により減少



(5) 各会計の見通し

単位：百万円

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	決算	決算	決算	決算	決算	決算	決算	計画	見込	
普通会計	68	703	110	254	266	417	55	50	8	
国保特会	▲ 5,644	▲ 4,751	▲ 3,955	▲ 3,205	▲ 2,599	▲ 2,187	▲ 1,747	▲ 2,240	▲ 1,234	
下水道特会	176	191	170	138	108	153	179	▲ 154	616	
水道事業会計	1,795	1,620	2,020	2,300	2,777	2,911	2,935	1,672	3,175	
連結収支額	▲ 3,573	▲ 2,189	▲ 1,604	▲ 443	615	1,368	1,500	▲ 672	2,641	
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
	見込	見込	見込	見込	見込	見込	見込	見込	見込	見込
普通会計	5	2	8	▲ 96	▲ 187	▲ 757	▲ 1,316	▲ 1,896	▲ 2,398	▲ 2,907
国保特会	▲ 871	▲ 466	▲ 18	0	0	0	0	0	0	0
公共下水道事業会計	98	130	177	212	216	200	175	116	29	1
水道事業会計	2,962	2,884	3,061	3,198	2,862	2,693	2,372	2,202	2,114	2,145
連結収支額	2,269	2,626	3,304	3,390	2,967	2,212	1,307	498	▲ 179	▲ 685

※ 連結収支額については、上記以外に、老人保健事業特別会計(平成22年度まで)及び後期高齢者医療事業特別会計も含んでいます。

※ 公共下水道事業特別会計は、平成28年度末日をもって打ち切り決算となっています。

※ 水道事業会計及び平成29年度以降の公共下水道事業会計は、資金余剰額(流動資産－流動負債)となっています。

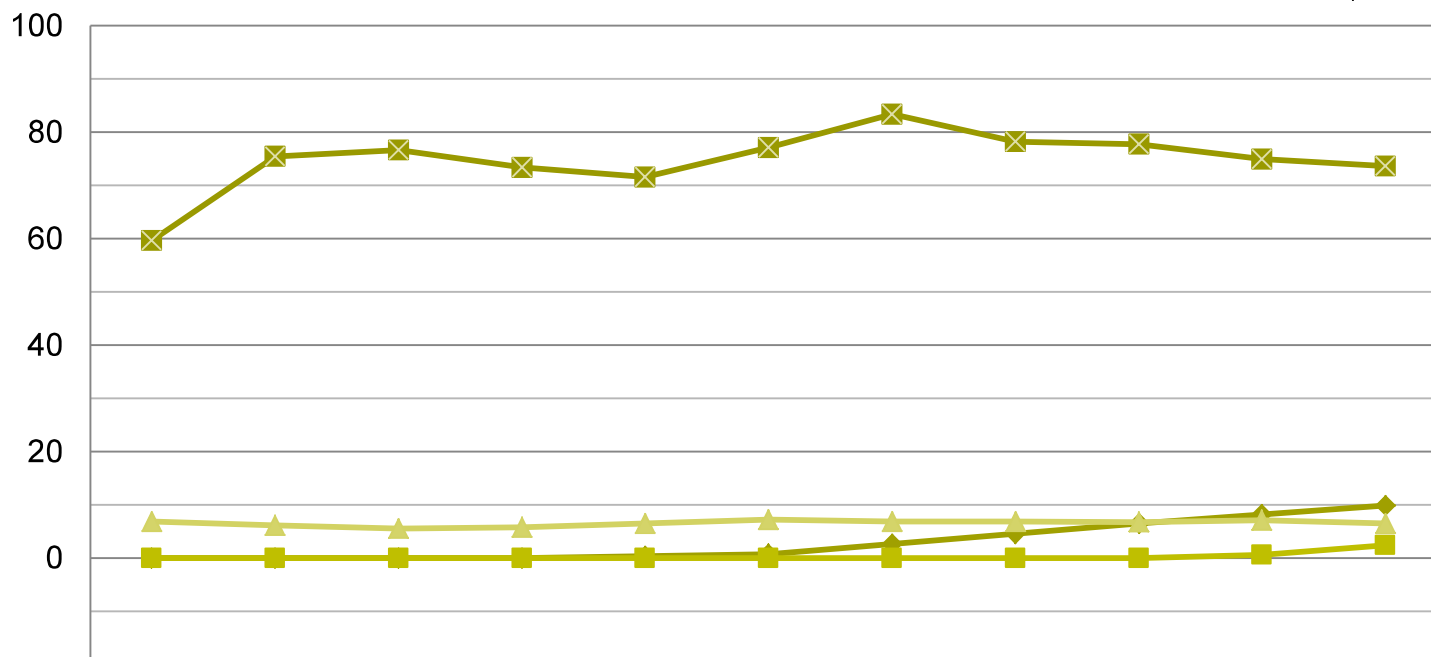
※ 水道事業会計は、水道事業ビジョン(計画期間：平成29から38年度)の改定により平成29年度以降の収支見通しの見直しを行っています。

(6) 今後の財政健全化4指標の推移



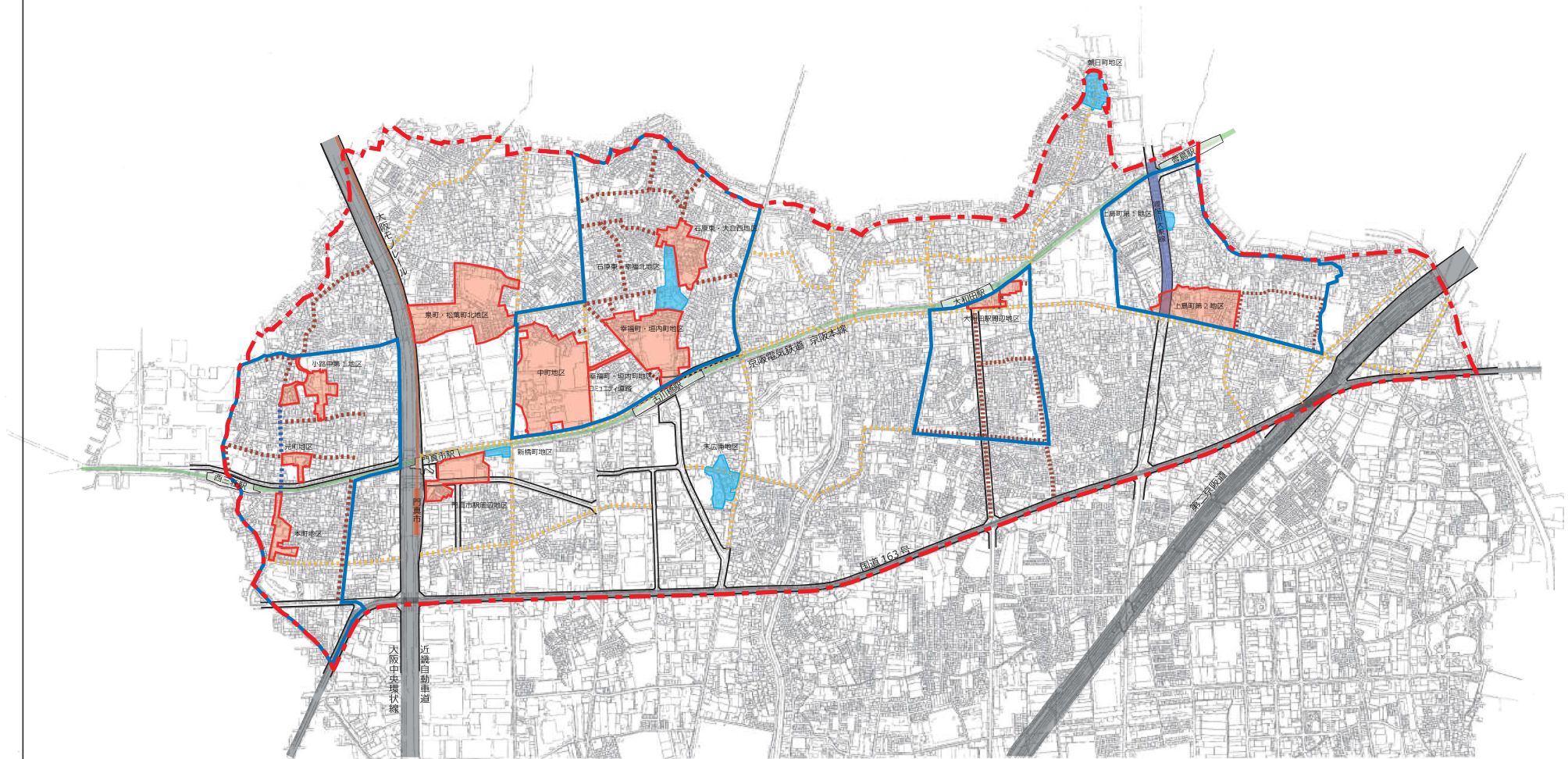
単位：%













財政健全化判断比率



	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
◆ 実質赤字比率	-	-	-	-	0.3	0.7	2.6	4.6	6.5	8.2	9.9
■ 連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.61	2.32
▲ 実質公債費比率	6.8	6.1	5.5	5.8	6.5	7.2	6.9	6.9	6.7	7.1	6.5
✕ 将来負担比率	59.6	75.5	76.6	73.4	71.6	77.2	83.4	78.2	77.7	75.0	73.6

計画の名称 門真市北部地区



	地震時等に著しく危険な密集市街地 (137ha)		整備地区・重点整備地区 (461ha)
	面整備促進地区		都市計画道路
	関連公共施設整備 (街路)		主要幹線道路
	優先主要生活道路 (緊急時避難路整備)		京阪電鉄
	優先主要生活道路		大阪モルレル
	主要生活道路		事業完了地区

大阪モノレール延伸事業

更新日:平成29年12月22日

大阪モノレールの延伸について

《目的》

- 環状軸の強化(放射状鉄道との結節による広域的鉄道ネットワークの形成)
 - 新たに4路線と結節し、在来10路線とネットワーク —
- 沿線地域の活性化・発展

《経過》

- OH16 近畿地方交通審議会答申8号に位置付け
- OH24 延伸の検討を戦略本部会議で確認
- OH26 公共交通戦略に位置付け
- OH27 戦略本部会議にて事業化決定

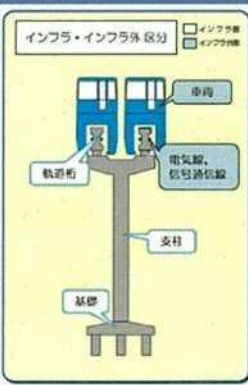
《概要》

- 区 間:門真市-門真南-鴻池新田-荒本-瓜生堂
- 延 長:9.0km



【参考：事業主体】

- 支柱、桁および駅等の基本構造物（インフラ）は、大阪府が整備
- 車両、信号、通信システムおよび駅務機器等の鉄道施設の建設と運輸営業は大阪高速鉄道（株）が担当



🔗 [大阪モノレール技術審議会 審議状況](#)

大阪モノレール技術審議会の審議状況を紹介します。

このページの作成所属
[都市整備部](#) [八尾土木事務所](#) [モノレール延伸グループ](#)

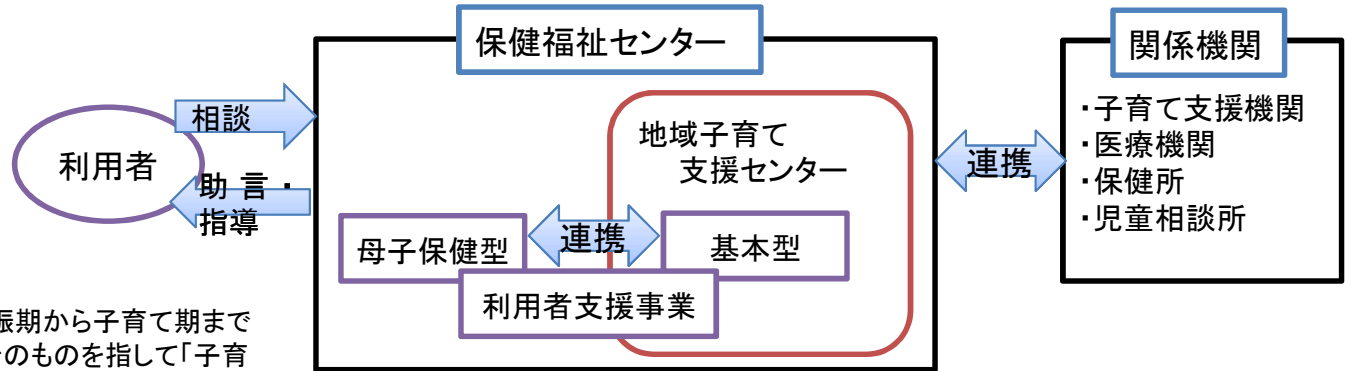


地域子育て支援センターについて

【子育て世代包括支援センターについて】

保健福祉センター内に地域子育て支援センターを移転し、新たに利用者支援事業(基本型)を実施することで、健康増進課が29年度より実施している利用者支援事業(母子保健型)と緊密に連携及び必要な情報を共有し、切れ目ない支援の実施が可能。

「地域ごとに、関係機関と情報を共有し、連携して、妊娠期から子育て期までの切れ目ない」支援を確保する機能を持つ『仕組み』そのものを指して「子育て世代包括支援センター」と位置づけることができる。

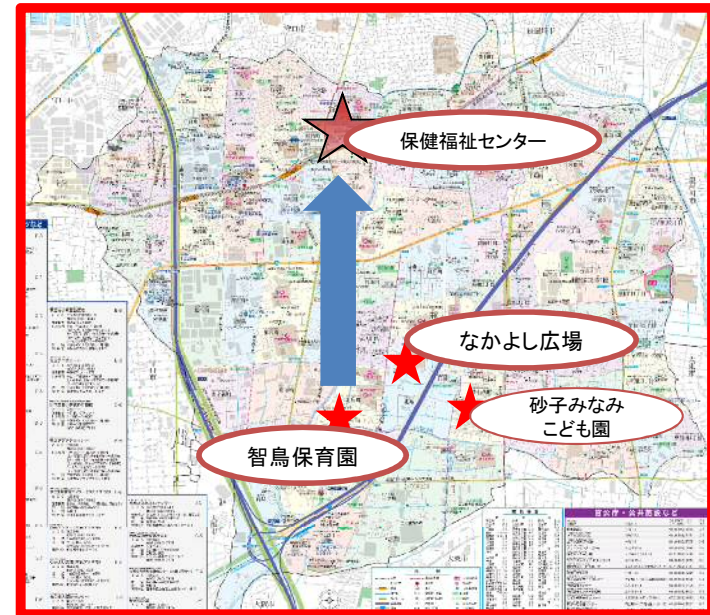


【事業実施スケジュール・予算】

- 29年度…事業計画採択
- 30年5月末～7月…実施設計・仕様書等作成
- 30年秋…プロポーザル実施・運営委託事業者決定
- 30年秋以降…施設改修・備品購入、運営体制整備
- 31年4月…新センター開設

(平成30年度予算)

- 実施設計…2,400千円
- 改修工事…16,890千円
- 備品購入…5,098千円



- 子育て世代包括支援センター(母子保健上の名称は「母子健康包括支援センター」)については、「少子化社会対策大綱」(平成27年3月20閣議決定)及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015年改訂版)」(平成27年12月24日)において、おおむね平成32年度末までに、地域の実情等をふまえながら、全国展開をめざすこととされている。
- 児童福祉法等の一部を改正する法律により、母子保健法の第22条の改正が行われ市町村に設置の努力義務が法定化された(平成29年4月1日施行)。